

令和5年12月21日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…社会福祉法人 縁むすび福祉会 小規模多機能型居宅介護 宍道の里

サービス種類…地域密着型小規模多機能型居宅介護

会議開催日… 令和5年12月21日(木)

開催場所…小規模多機能型居宅介護 宍道の里

出席者

事業所	3	名	事業所	0	名
利用者家族	0	名	地域代表者	0	名
松江市職員	1	名	地域包括支援センター	0	名
知見を有する者	1	名	その他(理事)	0	名

議事

利用状況 (令和5年12月21日時点)

登録者数 11 名 (男性 6 名 女性 5 名)

要支援1 0 名 要介護1 1 名 要介護3 2 名 要介護5 0 名

要支援2 2 名 要介護2 1 名 要介護4 5 名 申請中 0 名

平均要介護度 2.82 平均年齢 77.4 歳

新規利用 なし

利用中止 なし

活動状況報告

- ・11月、12月カレンダー作り・大根収穫
- ・取れた大根を使いおでん作り
- ・季節のぬり絵
- ・昔ながらの紙芝居
- ・カラオケ大会(平日・手作り折り紙

(1)コロナ感染症対策、インフルエンザ感染症対策として、マスクの装着を行っています。

レクリエーションに力を入れており、季節感を感じて頂けるようなレクリエーションを行いました。

本年度は壁紙などの飾り付けに使うものなどを中心にレクリエーションをしましたが来年度

は作品作りもそうですが、体を動かしたレクリエーションを取り入れていくようにと考えております。

現状は事業所として利用者様の介護度が高いためもあり共同で行えることが少なく感じて

おり、その場合でも個別レクリエーションが出来るような体制作りをしていきたいと思っております。

(2)コロナウイルス及び感染症拡大防止のため、外出は中止をしました。

換気や室温、湿度調整をしっかりとこなっております。

事故・ヒヤリ報告

ヒヤリハット 口に含んで薬を飲み込んで確認を行うも口の中のほっぺたにくっついていて、
薬が口をゆすいだ際に出てきた。

対策： 新規利用者様の対応で上記のようになった。病院では薬を半錠に
割り上手に飲み込みが出来ていたとの事だったがこのようなこともあり
看護師や本人了承の上、薬を粉碎してトロミに少量混ぜてお茶と
一緒に飲み込んでいただくという対策を行った。

事故報告： 泊りの居室にて転倒があり対策を講じるも本人は自分で
動けるという意思があり、3回転倒があった。

対策： 上記の方も新規の方で連泊されており、病院内でも転倒が多々あり
対応に困っていると相談や報告を受けていたが転倒が続いたため
原因を調べた。本人はベットやポータブルトイレなどの配置が分って
おらず、また病気による視野狭窄の為腰から下は全く見えないため
危険認知も乏しく、センサーマットを設置。また夜間帯は起立動作
ふらつきがある為オムツにて対応。それにより今のところ転倒はな
くなった。

その他

- ・ 様は、自宅にて三度の意識消失、緊急搬送により入院され、その後家族の介護疲れと
認知が進んでおり自宅では困難という相談をうけて10月15日の島根医大退院後より連泊にて
ご利用いただいております。施設ではなくこの慣れた小規模で見てもらいたいという家族の希望から
受けております。
- ・ 様は、松江市立病院を11月9日に退院されてそのまま小規模ご利用にて連泊されています。
ご家族様の自宅へ帰ってあげたいという希望から特養ではなく小規模を利用されてます。
- ・ 様は、松江市立病院を12月13日に退院されて、自宅での生活は家族が変則的な勤務にて困難
という事もあり現在は連泊にてご利用されております。予定では家族が土日休みなどがあつた際には自宅
に帰られて家族と過ごすという話になっております。
- ・ 様は身体機能の低下にて有料老人ホームに入居されて小規模多機能をご利用になられていましたが
が生活全般に介助が必要な状態となったため12月1日より併設の特養宍道楽苑に転居されました。

ご意見等

知見を有する者「 宍道楽苑と宍道の里とが併設されていることも強みだと思います。

里から楽苑へ移られた方のように、介護度が上がったことで、同じ敷地内へ移ることができることは、家族にとってもご本人にとっても良い事だと思います。」

施設長 「 宍道の里の方が楽苑へ行事参加が出来たりと、行き来が出来ることも利用者様にとっても良い事だと感じています。」

次回 令和6年2月29日(木)